

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地区太平洋沖地震では、我が国観測史上最大の 9.0 というマグニチュードを観測し、その後発生した大津波により、未曾有の被害をもたらしました。未だ、震災被害にあわれた地域では、被害の全容すら明確にならない状況であり、復興に向けたスタートをきれたとは言い難い状況であると認識しております。

震災被害にあわれた皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。また、当協会会員の企業・団体の皆様におかれましても、関東・東北地方での生産、販売、物流等に軽微ならざる被害を受けられた会員がいらっしゃるとの報告を事務局より受けております。被災地域に勤務されておられる皆様、ご家族の皆様の安全と一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

今般の震災に起因し発生した一連の出来事が、今後の我が国経済に与える影響については、様々な見方が出来るものと思いますが、今この時点では、状況が流動的であり、明確な見通しについて述べる事は控えさせて頂きたいと考えます。ただ、私は我が国が今回の震災からも力強く復興するものと信じておりますし、皆様におかれましても、その様に考えておられるものと思います。私たちの業界においても、今回の様な産業界全体にとって非常に難しい局面に臨み、更に一致団結して、この未曾有の危機を乗り越えてゆくことが肝要であると考えます。今後とも当協会活動へのご協力を宜しくお願い致します。

社団法人日本建材・住宅設備産業協会  
会長 藤本勝司